



京都マイコン研究会

第 119 号

1997年6月1日発行

発行人 圓口 佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内11
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@mbx.kyoto-inet.or.jp

トピックス or ニュース

MS-Office97 (スロ) の視点

増田

Windows97 (プロ) はOSより先に出たアプリケーション。操作感を要約すれば「初心者ターゲットにしたヘルプ機能。今言われているイントラネットやネットワークコンピューティング環境を網羅する小道具類を標準装備」、もちろんインターネットエクスチェンジv3.02も、これ1つであとはいらないと言うのはノーマルな利用をしているユーザの声でしょうね。

今までワードは開発者や先駆者にはえても、初心者にはマスターしにくかった。今度のワード97は視点を180度かえた。だれが主体かを問いただした結果であろう。初心者に解りやすい直感的な道具類が表示されている。その中でもオートシェイプは吹き出しやいろいろな編集のパフォーマンスをするためにつかえる新しい部品群があり、機関誌やニュース紙を発行する者にとっては魅力的な物をちらつかせている。MSの誘惑作戦かも、ワード97を10人に見て頂いたら、全ての人がこの部品群を見て乗り換えを示唆した。人間は、欲しいものがあれば古い付き合いともおさらばして、欲しい欲しいの欲望のとりこになる私も使いたい。

これは、ジャストシステムあやうし。

例会報告

1997年5月10日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 岩井、若林、中辻、若井、河原、増田、圓口、中村 8名

内 容 その他

次回例会

日時 97年6月7日 (pm.6:30)
場所 大山崎ふるさとセンター
内容 総会にむけて
新年度部会
6月合宿など

第27回

パーソナルコンピュータユーザ 利用技術者認定試験

日時 1997年7月13日 (日) AM10:00

場所 京大会館

HomeStay ホームステイ

増田

会員の方でお会いになられた方もおられると思いますが、スージーがオーストラリアへ帰ります。大学卒業 (関西外大) のため、今週には彼氏と両親が来日ついでに。日本一周されるそうです彼女は先に北海道へ10日間の観光です。

スージーは、学校の休日には同じオーストラリアから来た仲間達とワイワイガヤガヤ(何を言っているのか解りませんが。)楽しく関西一円を観光で過ごし、家にはほとんどいなく、日本語は上手で会話にはまったく不自由しません。

実質は、兄の家にいました。兄の子供が高校の女の子がいるのでよい話相手になるからです。背丈は1.8mもあり顔は大きくなくて可愛い彼女です。彼女は週に3回ほどE-maleで母親とメールの交換 (さすがにタイピングは早く目に止まりません) インターネットホーンは実現しませんでした、(試みようとしたのですが、受ける彼女のお母さんの方も設定しなければならなかったのでチョット間にあいませんでした。)

本国に帰ってからもE-maleを送ってくれるらしいです (日本語で送ってねとおねがい、日本語を忘れないためにと理由付けして。)。彼女はE-maleをお母さんから教わったらしいです。お母さんはパソコンが好きで常にE-maleを友達とやりとりしているというお話です。オーストラリアは国土も広く友達とも遠くに離れる場合が多いからでしょうね。しかし、お母さんはネットサーフィンはしていないとの話です。

私の両親 (84才) ととも何度か近辺に観光を一緒にしたり、レストランで食事をしたりしてそんなに違和感のない彼女でした。(肉食主義で肉食はあまり好みません。)

日本語を選考した理由は、数年後オーストラリアで開かれるオリンピックの日本選手のコンパニオンになりたいということでした。

短い4/1期でしたが。手のかからないおとなしい素直な彼女でした。

Visual Basic 部会

nomasuda

VBのデータベース

データベースの渦中にある社会構造

インターネット、LANなどの情報網の発達と共に必要不可欠の要素なのです。

今までにも大企業では日々利用されて来ましたが、最近は中小企業や零細企業までもがデータベースと係わなければ生き残れない時代感になって来ている。

皆さん方もデータベースに直接や間接的に触れられている方が多いことと存じますが、データベースにもいろいろなスタイルがありVBの扱うデータベースは、ネイティブデータベース・外部データベース (FoxPro/dBASE/Paradoxなどデータベース)・ODBC (クライアントサーバー型データベース)・エクセル、ロータス123などのワークシートやテキストファイルなのです。

ネイティブデータベース

データベースはデータベースアプリケーションが起動するのではなくデータベースエンジンというものによって操作されているのです。

つまり、データベースアプリケーションでデータを並べ替えて下さいとか追加して下さいという指示をすると、データベースエンジンが指示に従い並び変えたりデータの追加をします。次に、データベース(データストア)を書き換える。それがまたデータベースアプリケーションに反映させる。これがデータベースの仕組みです。

VBにはデータベースアクセスが出来るデータベースアクセスツールやアドインツール(VB拡張機能)が標準で用意されています。さらにDAO (DAO: Data Access Objects)と呼ばれる機能、SQL (エス・キュー・エル) データベースの共同命令体系と組み合わせAccess以上のデータベースアプリケーションを完成させられるのです。

データベースエンジンはデータベースのデータを検索したり並び変えたりなどの処理をしてくれます。これをMicrosoft Jetといいます。略称Jetには16ビット用のJet2.5と32ビットOS用のJet3.0エンジンがあります。

JetはDAOの機能でデータをコントロールしますのでコード記述するのもDAOに基づいてください。しかし、データコントロールだけを利用するならばDAOは考えなくても良いのです。

リレーショナルデータベースはデータとデータがつけあわせる結果を表示出来るため関係データベースと言われます。

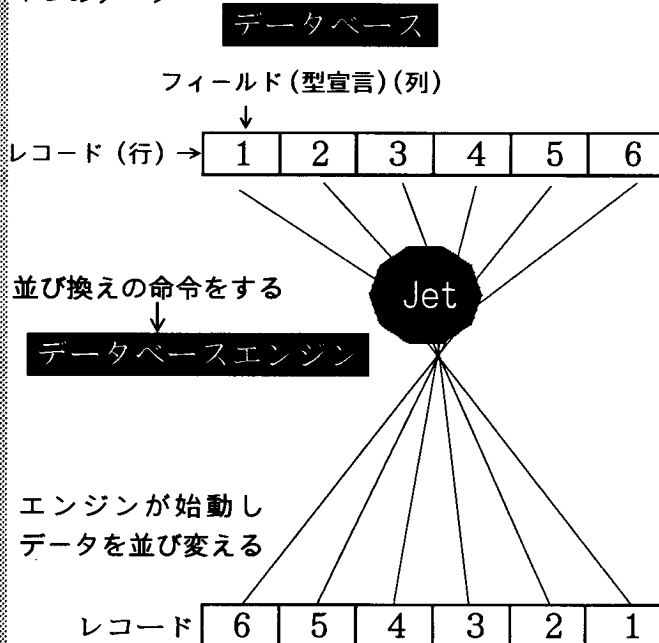
フィールド、レコード

フィールドとレコードは表計算のような行と列の表で表わされます。

列をフィールドと言い、1つのフィールドにはデータ型とか数値型とかの型やサイズの属性を宣言しておく必要があります。

フィールドの集まりをレコードと言います。

1つのデータ



同じ内容のレコードの集り (テーブル)

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

テーブル

同じ内容のレコードの集り (テーブル)

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

テーブル

同じ内容のレコードの集り (テーブル)

あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か

テーブル

データストア (テーブルの集り)

Visual Basic 部会

nomasuda

データベースはレコードの集まりですがそれをテーブルと言います。テーブルの集まりをデータストアと言います。

テーブルから1つのレコードを捜し出すための番号付けが必要ですがその捜し出す番号が主キーというインデックス付けをします。

データベースとは

さて、各名称や機能を初めに紹介しましたが、本体のデータベースとは名前の通り情報を得るための基礎となるデータで、その中身は、簡単に作成することが出来ます。

一番簡単なのはワープロソフトやエディターなので氏名、住所、年齢とスペースまたはタブ・カンマなどで区切られ、並べられた物なのです。これらは、TEXTファイル化して保存すれば表計算ソフトに組み込めます。テキストに区切りとして付けたスペースやタブ・カンマが各セルの区切りとして認識します。ただし、データベースとしては完全な情報が足りません。

その足りない細部とは。

氏名、住所、年齢という1つのデータ(情報)の集まりをレコードと言います。カンマやスペース・タブで区切られたところまでをフィールドと言います。

氏名、住所、年齢では3つのフィールドが有ることになります。各フィールドには名前を付けますがこの名前付けに対する制限があります。氏名には何文字を使うかと言う最大利用文字数を宣言しなければなりません。後でこの数字を変更するとデータ表示が崩れてしまいます。つまり、京都マイコン〇〇〇と9文字漢字を氏名というフィールドに登録するには漢字は2バイトなので18文字と設定すればこの氏名というフィールドでは漢字9文字以上の入力出来ないのです。と云って余分な量の文字数を設定すれば後のフィールドのことも考え、1フィールド最大文字数の64文字と言う制限内で納まる限りして下さい。

もう1つ型宣言と言う決まりがありデータ型なのか数値型なのかその他宣言しなければなりません。それにより数値計算出来るようにするのか、文字として表示するのかなどがあります。詳しくはデータベースのマニュアルをご覧ください。

こうしてフィールドを1、2、3、4、5、6、と情報を蓄積するこのフィールドの集まりをレコードと言います。レコードの集まりをテーブルと言います。テーブルの集まりをデータストアと呼びます。このデータストアの中から利用したい情報があるテーブルとテーブルをつなぐ行を関連付けるとも、抽出するとも言います。同じ趣味や研究をしている人たちをグループ化する。つまり、なにになとなになにをするにはこのテーブルのデータとこのテーブルのデータが必要です。そして各テーブルのレコードのフィールドをつなぎ合わせ(1つのデータとして、特定のデータを共有(利用)しなければなりません。と言う事なのです。

1つのデータから他のデータへつなぎ合わせる。これをリレーションと言います。リレーションナルデータベースの基本設計なのです。(今回はデータベースの基本を記述しました。)

主キー

あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か
あ	い	う	え	お	か

テーブル

主キー

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

テーブル

主キー

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

テーブル

レコードには主キーという番号付けが必要です。これはレコード番号と言います。1レコードに主キーは1フィールドにしか付けられません。この主キー(INDEX)付けは、データを並び変えたり捜し出すためや計算するのに必ず必要です。主キーは自動的にデータの続く限り規則正しく連続して付けられて行きます。そのため番号が飛んだり変化することはありません。必ず連続していなければならないものなのです。

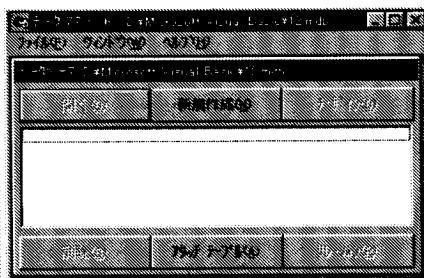
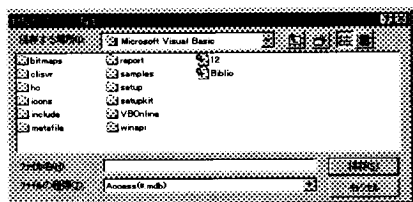
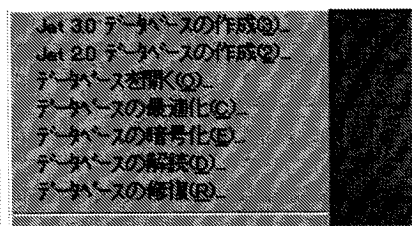
Visual Basic 部会

Visual Basic データ マネージャ

データ マネージャは新しく Microsoft Jet データベースを作成することができます。これは Visual Basic の中に (datman32.exe) ファイル としてインストールされていますので単独でも実行できます。



Datman32



Microsoft Jet データベースを新しく作成することができ、各種形式のデータベースを調べたり、マップしたり、外部データベースからアタッチテーブルを作成することもできます。

データベースの種類 可能な操作

Microsoft Access	作成、アタッチ、マップ
Paradox 3.X、4.X	アタッチ、マップ
dBASE III、IV	アタッチ、マップ
FoxPro 2.0、2.5	アタッチ、マップ
Btrieve	アタッチ、マップ
ODBC	アタッチ、マップ

Microsoft Access と同じデータベース エンジンを使用し、データ マネージャで作成したデータベースは Microsoft Access で、Microsoft Access で作成したデータベースは Visual Basic およびデータマネージャで処理できます。

[データ マネージャ] ウィンドウの [ファイル] - [新規データベースの作成] (Jet データベース 3.0 の作成) コマンドを選択します。データベースファイルを保存するフォルダを選択します。

新規フォルダを作成するときは、[新しいフォルダの作成] ボタンを選択します。

次にファイル名を入力します。ファイル名の拡張子には、.MDB を指定します。このダイアログ ボックスで、既存の .MDB ファイルの名前を入力したり、選択することはできません。

[保存] ボタンを選択して、新しいデータベース名を設定します。

新しいデータベース ファイルを作成したら、データを格納するテーブル、フィールド、およびインデックスを追加します。

データベースのデータは、すべてテーブルに格納されます。各テーブルは、1 つまたは複数のフィールドの集まりとして定義されます。各フィールドは、データ型、サイズ、およびその他の属性を指定して格納されるデータの種別を示します。

テーブル作成では、関連するデータをグループ化します。たとえば、各個人に関する情報のテーブルに格納します。また、一人が複数の趣味および複数の人物付き合い (例えば、親戚、友人、グループ、家族) などに関する情報は、別のテーブルにそれぞれ格納します。

新規テーブルの作成

1. テーブルを新しく作成するには、[テーブル/クエリ] ダイアログ ボックスの [新規作成] を選択します。[新規テーブルの追加] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. テーブル名とフィールド名を入力し、[データ型] ボックスからデータ型を選択します。次に [] ボタンを選択して、フィールド名をリストに追加します。リスト内でフィールド名を移動するには、[上へ] および [下へ] ボタンを選択します。
3. テーブルを保存するには、[OK] ボタンを選択します。

次のボタンを使用してテーブルを処理することができます。

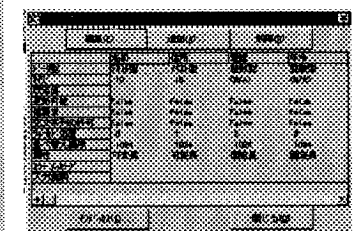
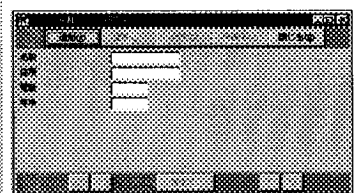
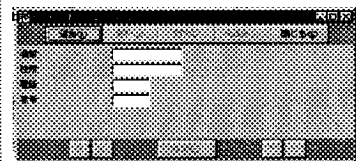
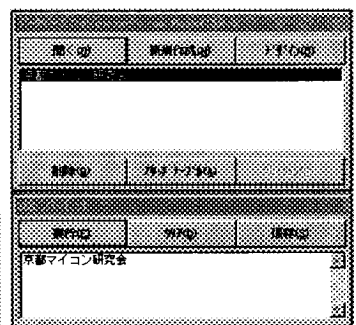
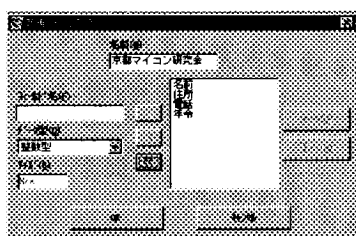
ボタン内容

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| [開く] | 指定したデータベースの既存のテーブルを開き、データを表示します。 |
| [新規作成] | 新しくテーブルを作成します。 |
| [デザイン] | 既存のテーブルを開き、テーブルの構造を表示または修正します。 |
| [削除] | 既存のテーブルを削除します。 |
| [アタッチ テーブル] | 新しいテーブルのアタッチ、または既存のテーブルの再アタッチを行います。 |
| [リレーション] | テーブル間のデータの関連付けを定義します。 |

Visual Basic

部会

Visual Basic データ マネージャ



フィールド名の構文は、データベース エンジンの種類によって異なります。Jet データベースでは、フィールド名の構文は、他のデータベース オブジェクトの構文と同じです。「データベース オブジェクトの名前付け規則」(Visual Basic データベース オブジェクトの名前付けに関して、特定の規則があります。Visual Basic では、最大 64 文字のデータベース オブジェクト名を設定できます。オブジェクト名として、アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、スペース、および特殊文字の一部を組み合わせて設定できます。ただし、特殊文字のピリオド(.)、感嘆符(!)、および角かっこ([])は使用できません。また、先頭にスペースを入れたり、制御文字(ASCII コードが 0 から 32 までの文字)を使用することはできません。)を遵守してください。データ型は、フィールドに格納されている情報の種類、たとえば、数字または文字列を設定します。ほとんどのデータ型では、サイズは自動的に設定されます。テキスト フィールドでは、フィールドの最大必要バイト数を入力します。ただし、レコードの最大長は、2,000 バイトに制限されています。

注 データベースにフィールドを追加することはできますが、フィールドの名前を変更、修正、または削除する場合は、テーブル全体を削除し、各フィールドをもう一度作成する必要があります。したがって、テーブルを設計するときは注意してください。

1. [テーブル/クエリ] ダイアログ ボックスで既存のテーブル名を選択し、[デザイン] ボタンを選択します。[テーブル エディタ] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [インデックス] ボタンを選択し、[追加] ボタンを選択します。インデックス名を入力し、必要な項目を設定します。[テーブル中のフィールド] ボックスから 1 つまたは複数のフィールド名を選択し、[追加] ボタンを選択します。

選択したフィールド名は、[インデックス中のフィールド] ボックスに移動します。これらのフィールドの内容により、どのようにテーブルを並べ替えるか、またはどのような結果を返すかを設定します。インデックスを作成するとき、フィールド数に制限はありませんが、フィールド名全体の長さは 254 文字以内に制限されています。さらに、一部のフィールドはインデックスとして指定できません。たとえば、メモ型のフィールドや OLE オブジェクト型のフィールドは指定できません。テーブルに必要なインデックスをすべて作成します。

フィールドの場合と同様に、インデックス名の構文はデータベース エンジンの種類によって異なります。Microsoft Jet データベースでは、インデックス名の構文は、他のデータベース オブジェクトの構文と同じです。「データベース オブジェクトの名前付け規則」を参照してください。

3. 必要なインデックスをすべて作成したら、[OK] ボタンを選択します。

注 通常、インデックスを使用して、パフォーマンスを向上させたり、テーブル内の重複レコードを削除します。インデックスを作成するとき、フィールド数に制限はありませんが、フィールド名全体の長さは 254 文字以内に制限されています。さらに、一部のフィールドはインデックスとして指定できません。たとえば、メモ型のフィールドまたは OLE オブジェクトのフィールドは指定できません。

[ファイル] メニューでは、次のコマンドを利用できます。

コマンド

- [新規データベースの作成]
- [データベースを開く]
- [データベースの最適化]
- [データベースの変換]
- [データベースの暗号化]
- [データベースの解読]
- [データベースの修復]
- [データ マネージャの終了]

データを処理するには、まずテーブルを開き、開いたテーブルに必要な処理を行います。

レコードの内容を変更するには、各フィールドを選択してデータを編集します。変更後、別のレコードに移動すると、変更内容がデータベースに保存されます。

新しいレコードをテーブルの最後に追加するには、[追加] ボタンを選択し、フィールドにデータを入力します。[更新] ボタンを選択して変更内容を保存します。

カレント レコードを削除するには、[削除] ボタンを選択します。レコードはすぐに削除され、復元できません。

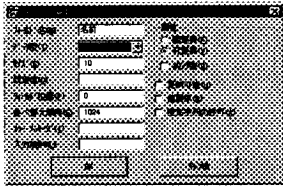
特定のレコードを見つけるには、[検索] ボタンを選択します。検索するフィールド、演算子、および値を選択します。この式の構文は、Visual Basic のオンライン ヘルプで示される Find メソッドの構文と同じです。通常、この構文は、SQL (Structured Query Language) の WHERE 句の構文と似ています。

レコードを再び取得するには、[再表示] ボタンを選択します。Visual Basic データベース オブジェクトの名前付けに関して、特定の規則があります。Visual Basic では、最大 64 文字のデータベース オブジェクト名を設定できます。オブジェクト名として、アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、ス

Visual Basic

部会

Visual Basic データ マネージャ



ベース、および特殊文字の一部を組み合わせて設定できます。ただし、特殊文字のピリオド (.)、感嘆符 (!)、および角っこ ([]) は使用できません。また、先頭にスペースを入れたり、制御文字 (ASCII コードが 0 から 32 までの文字) を使用することはできません。

[テーブル/クエリ] ダイアログ ボックスの一覧からテーブル名を選択します。[リレーション] ボタンを選択すると、[リレーション] ダイアログ ボックスが表示されます。この [リレーション] ダイアログ ボックスで、データベースのテーブル間のリレーションを定義することができます。複数のテーブルを基にクエリーを実行したり、フォームやレポートを処理する場合、データ マネージャは、これらのリレーションを使用して、関連するデータを検索します。

[主テーブル]

データベースのテーブルを一覧表示します。別のテーブルと関連づける主キー フィールドを含むテーブルを選択します。

[主キー フィールド]

選択した主テーブルの主キー フィールドを表示します。

[種類]

リレーションの方法を、[一対一] または [一対多] のいずれかから選択します。

オプション 説明

[一対一]

テーブル間の一対一リレーションを確立します。

[一対多]

テーブル間の一対多リレーションを確立します。

[リレーション テーブル]

データベースのすべてのテーブルを一覧表示します。主テーブルと関連付けるテーブルを選択します。

[一致するフィールド]

関連テーブルのフィールドを一覧表示します。主テーブルの主キー フィールドと一致するフィールドを選択します。

[参照整合性]

参照整合性を適用するためには、このチェック ボックスをオンにします。参照整合性を適用しない場合は、このチェック ボックスをオフにします。

[追加] ボタン

指定した内容に従って、リレーションを作成します。

[削除] ボタン

リレーションを削除します。

[候補]

関連テーブルの中から主キー フィールドと同じ名前を持つフィールドを探します。

[閉じる] ボタン

ダイアログ ボックスを閉じます。

[テーブル/クエリ] ダイアログ ボックスの一覧からテーブル名を選択します。[リレーション] ボタンを選択すると、[リレーション] ダイアログ ボックスが表示されます。この [リレーション] ダイアログ ボックスで、データベースのテーブル間のリレーションを定義することができます。複数のテーブルを基にクエリーを実行したり、フォームやレポートを処理する場合、データ マネージャは、これらのリレーションを使用して、関連するデータを検索します。

[主テーブル]

データベースのテーブルを一覧表示します。別のテーブルと関連づける主キー フィールドを含むテーブルを選択します。

[主キー フィールド]

選択した主テーブルの主キー フィールドを表示します。

[種類]

リレーションの方法を、[一対一] または [一対多] のいずれかから選択します。

オプション 説明

[一対一]

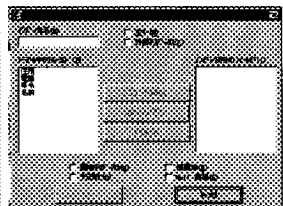
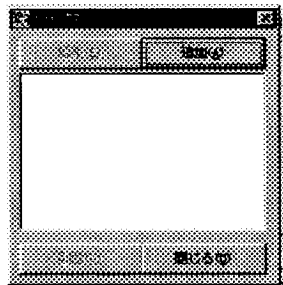
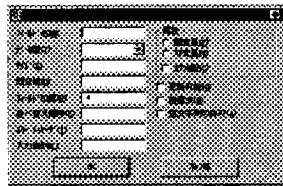
テーブル間の一対一リレーションを確立します。

[一対多]

テーブル間の一対多リレーションを確立します。

[リレーション テーブル]

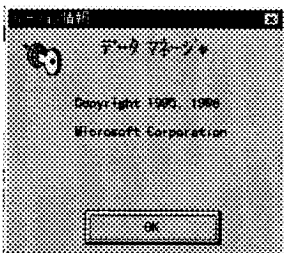
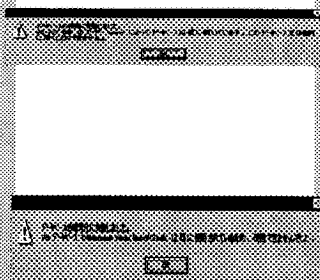
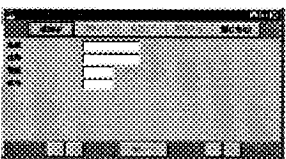
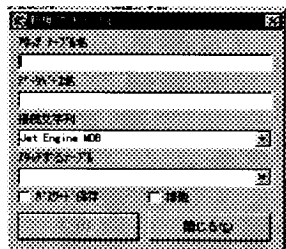
データベースのすべてのテーブルを一覧表示します。主テーブルと関連付けるテーブルを選択します。



Visual Basic

部会

Visual Basic データ マネージャ



ms-VsualBasic-jatデータ
マネージャヘルプより引用
しました。

[参照整合性]

参照整合性を適用するためには、このチェック ボックスをオンにします。参照整合性を適用しない場合は、このチェック ボックスをオフにします。

[追加] ボタン

指定した内容に従って、リレーションを作成します。

[削除] ボタン

リレーションを削除します。

[候補]

関連テーブルの中から主キー フィールドと同じ名前を持つフィールドを探します。

[閉じる] ボタン

ダイアログ ボックスを閉じます。

1. [テーブル/クエリ] ダイアログ ボックスの [アタッチ テーブル] ボタンを選択します。
[アタッチ テーブル] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [新規] ボタンを選択し、フィールドに情報を入力し、[アタッチ] ボタンを選択します。

この操作により、別のデータベース アプリケーションのテーブルとのリンクが作成され、そのテーブルのデータの表示および編集ができるようになります。アタッチ テーブルは、元のデータベース アプリケーションでも継続して使用でき、データベース マネージャからも使用できます。他の Microsoft Jet データベースのテーブルもアタッチすることができます。別のデータベースのテーブルをアタッチすることにより、そのデータベースを開かなくてもテーブルを使用することができます。

注 Paradox、Btrieve、または SQL サーバー データベースのテーブルをアタッチする場合、他のアプリケーションで設定されたパスワードを指定しなければならない場合があります。テーブルをアタッチし、パスワードを指定すると、データ マネージャは、後でこのテーブルを開くことができるように、このパスワードをデータベースに格納します。この機能は、SQL サーバー データベースでは、省略可能です。また、パスワードを保護するために、パスワードを持つアタッチ テーブルを含むデータベースを暗号化する場合もあります。

次のデータベース アプリケーションのテーブルをアタッチすることができます。

Microsoft Access (開いているデータベース以外のデータベース)

Paradox (version 3.x、4.x の .DB ファイル)
FoxPro (version 2.0、2.5 の .DBF ファイル)
dBASE III、dBASE IV (.DBF ファイル)
Btrieve (データ定義ファイル FILE.DDF、FIELD.DDF 付き)
ODBC

SQL データベースを処理する場合、[SQL Server ログイン] ダイアログ ボックスが表示されます。各 ODBC ドライバのダイアログ ボックスのオプションについては、ODBC ドライバに関する情報を参照してください。

外部テーブルをアタッチしたら、[テーブル エディタ] ダイアログ ボックスに、そのテーブルのフィールド プロパティを設定します。

アタッチ テーブルの構造は変更できませんが、フィールド プロパティは設定することができます。

2 つのテーブル間の多対多リレーションでは、一方のテーブルの 1 つのレコードを他方のテーブルの複数のレコードに関連付けることができます。

多対多リレーションを定義するには、この 2 つのテーブルを結合するための 3 つめのテーブルを作成します。

1. 多対多リレーションを定義するテーブルを作成します。
2. 3 つめのテーブル (結合用のテーブル) を作成し、このテーブルに他の 2 つのテーブルの主キー フィールドを設定します。このテーブルでは、主キー フィールドは、外部キーとして機能します。
3. 3 つめのテーブルでは、主キーを、他の 2 つのテーブルの主キー フィールドをすべて含むように設定します。
4. 2 つの主テーブルと 3 つめのテーブルとの間に、一対多リレーションをそれぞれ定義します。

注 3 つめのテーブルには、通常のテーブル作成と同様に、主キー フィールド以外のフィールドを追加することができます。

データベースに対してクエリを実行するには、まずデータベースを選択し、開きます。[SQL ステートメント] ダイアログ ボックスで、クエリを入力し、[実行] ボタンを選択します。クエリを保存するには、[保存] ボタンを選択し、次に QueryDef オブジェクト名を入力し、[OK] ボタンを選択します。[SQL ステートメント] ダイアログ ボックスの設定および入力を消去するには、[クリア] ボタンを選択します。

前回の会報に掲載しましたが、LANを設定した後でOSを再インストールしたりシステム環境を換えるゲームソフトなどLANの環境を変化させるソフトウェアをインストールした場合には次のような現象が起こる。

ネットワークのアイコンをクリックすればネットワークで繋がれた他のコンピュータのアイコンが表示されるのですが、ネットワークのアイコンだけが表示される。本来そのアイコンをクリックすればネットワークに繋がれているコンピュータが表示されるが、トラブルを起こしている時は「稼働中のネットワークには接続出来ません。」のメッセージが表示される。正常な場合でも出るときが有りますが、ネットワークのファイルを開いて再度ネットワークアイコンをクリックすればネットワーク上にあるコンピュータが表示される事がしばしば有ります。だが前記のように崩れてしまった場合は同じメッセージウインドーが表示され続けられます。また、コントロールパネルのネットワーク設定画面で再設定や削除でLANボードをはずし再立ち上げを試みたりドライバーの再インストールも試みましたが、自分のコンピュータしか見えません。「自分のコンピュータはこんなことしなくても見えて当たり前、LANは他のコンピュータを見るために設定しているので」、全てアウトでしたあげくの果てのハードディスクの領域開放からフォーマットまでありとあらゆる方法や手段をこうじてもだめです。(このため2ヵ月あまりをついやし、さすがの私も命を縮ませ、もうすこしで切れるところでした。コントロールパネルのネットワークの設定とシステムのリソースの設定からコンピュータの再立ち上げなど、くる日くる日も4台のマシンで約1000回以上はしたのですから。)後に頭の隅にあった最後の一つの方法を残してあきらめ気分でした。この、こしょくなLANの開放は他のマシンの購入やLANボードの購入とともに最後の一つの方法を試す日がおとずれました。

残された方法とは、頭の中で考えていたのですが、LANを設定したときにはどのコンピュータと、どのコンピュータとが接続されているかを記録しているのですが、そのネットワークで組まれていた1台が崩れるとそのLANシステムは総崩れになるのです。

さて、話はおどりますが、最後の最後は違うメーカーのLANボードの取り替えでした。そして、実行に移したところなんと驚くなかれ、LAN設定しているコンピュータがすべて表示されたではないですか。数台LANで接続していたのですがたった1台のボードを入れ替えただけで、今までの時間や精神的な苦痛は何だったのかという嘘のように数日は精神の休養のためコンピュータと会話をしませんでした。(次回はこれまたLANにとっては厄介者の各種雑誌や色々なところでLANの設定は出来ないと言われているIBM Aptiva H55に挑戦。ついにLANを設定しIBM aptivaで快適なLAN環境にする。気分は爽快.....でもないか?)

データベースは人生の整理整頓なのである

私たちが日々生活して行く上に成り立っているのがデータベースなのです。

自分の事。家族の事。友人の事。仕事の事。趣味。好きな食べ物。資産。年間の生活費。1年間の行動。その他、自分の周りのことを1つずつ整理して行かなければ現代社会に上手く対応出来なくなりあちこちでトラブルが発生しかねません。又、それらをデータベース化すれば、仮にある決断をしなければならぬ時に必ず自分はこう答えるであろうという結果が今までの人生の経過のデータから表わせるのではないのでしょうか。自分の生涯や行動予測が数字で表わす事が出来るような気がします。これはチョット恐い、(格率の高い占いか?)しかし現実なのでは?

データベースをこのように、視点や発想を変えた利用の仕方は自分自身のデータベースに対する興味とそれらの結果に対抗する。新しい自分を創造出来るかも知れません。貴方も挑戦してみては心のデータベースに。

【第二弾トラブル顛末記ーインストールの巻】 若林 實

先日来、ISDN用TA（日電・A T E R M I T 5 5 D S U）のバージョンアップに手こずり、河原さんの懇切丁寧な指導を得、併せて同氏からのメール添付LZHファイルの解凍についても教示頂いて落着を得ました。その顛末を次に説明します。なお、未だ完全に理解できない部分があるので、前回の配信トラブル同様に、今回もあっちこっち突つき回したので、どのような軌跡をたどったのか、あやふやな記憶を頼りに、頭の整理やら検証に手間取り、その経過を要領よく纏められませんでした。

1. 先月購入した NEC の I T E R M 5 5 D S U はフラッシュメモリを備えているので、時々同社の HomePage にアクセスするようにとのアドバイスを河原さんから以前に受けていました。ISDN切り替え工事も終わり、取り説通りの設定も終って順調に動作していたので、頃を見計らって、HPをのぞいたところ最新の日付けの VersionUp が二件あった。「ユーティリティ」と「ファームウェア」共に哲 EW 狼マークがあったが、後者の4件の追加機能の説明が理解できなかったので今回はこれをパスすることにして、前者のみ指示に従って任意のホルダーに down-load した。
2. Version-up や新しい Program の Install は何度も経験していて、ある時は自動的に、ある時は画面の指示どおりに操作すれば Install されていたので、今回もトラブルはないものと思っていた。そこで先ず、TA の設定時に同時に設定されていた、「IT55 らしくバージョンアップ」と言う名の program を呼び出して画面に表示されたファイルを次々と選んで OK ボタンを押したが、その都度、「このファイルは AtermIT55 用のプログラムではありません」と次へ進まない。この時選択画面に表示されたファイル名は： it55.exe, it55.hlp, loader.exe, readme. txt の4個。
3. やむなく、エクスプローラに戻り、前述の download ファイルを保持しているフォルダを覗いたところ、知らぬ間に 10 個のファイルに展開されていた。最初は 55raku32.exe と 55raku32 の2個が： It55.exe、..hlp、Itsetup.exe、Loader.exe、Readme.txt、Setup.exe、Setup.lst、Setupkit.dll、Vbrjp200.dll、Ver.dl_ に膨れ上がっていた。これらを片っ端から叩いてみたが、或ものはDOS画面になったり、幾つかは訳の分からぬメッセージが出てきたり、そして実はづつと後になって解ったことだが、多分 Setup.exe を叩いたとき、セットアップ画面に入り、指示通りの手順を踏んだところ、「既にインストールされたファイルが存在しているがセットアップを続けるか」と聞いてきたので、これはヤバイと思ってキャンセルした。この時「はい」を選択してをれば正解だったのですが。つまり、此の問いが、作業フォルダの古いファイルを更新するかと言うことだったのですが、その時点では全く気付かなかった。
4. 偶々河原さん発信のメールに解凍できない LZH ファイルが添付されていたのでこれも兼ねて同氏に SOS を発した。幸い5月例会直前だったので、例会の場で適切な指導を受け、且つ必要なファイルを頂いた。
5. 結局作業フォルダ内の訳の分からぬファイルを全部一掃し、down-load した新ファイルを入れ替えて一件落着した。ただし上記3. で挙げた 10 個のファイルの内、作業フォルダに入ったのは、2. で挙げた4つのファイルと It555.gid ーどこから湧いて来たのか訳が分からぬーの5個で、残り6個のファイルは何処へふつ飛ばされたのか解らない。
6. 例会の折り頂いた it55_300.bin ファイルを指示通りに作業フォルダに入れ取説通りに事が運んだので、これはテキキリ特効薬だったのかと思っていたら、後日、河原さんから、小生が今回は、パスするつもりだった「ファームウェア」Ver. Up のファイルだったと知らされ、知らぬが仏で、勞せずして恩恵に浴した。

反省と雑感： 数ヶ月前でしたか、増田さんから、初めて触った WINDOWS の実感を書けと言われましたが、なにしろ WINDOWS 3 時代は長らく冬眠していたので、ベーシックや初期の MSDOS から一足飛びに飛び込んだ 9 5 の威力に感嘆するやら畏れおののくやらで、感想を披露するところではなかったのですが、ここ一、二ヶ月の一連のトラブル続きで強烈なパンチを喰らい、漸く目が醒めました。顧みれば、笑うに笑えぬチョンボばかりで、差詰め、パソコンと弥次喜多道中を始めたようです。まだお江戸日本橋を出立したばかりで、これからの珍道中が思いやられます。今後も大いに諸先輩の足かせになること必中、ご覚悟の程を。

付記

上記に関して河原から付言させていただきます。

日電のユーティリティ・プログラムは、[A T E R M I T] のサブディレクトリあり

、その中のリストを次に示す。

(I T 5 5 E X E 231,858 / L O A D E R E X E 167,974 / I T 5 5 H L P 124,575 / I T 5 5 G I D
499,711)

若林さんが、3)での I N S T A L L を中止したメッセージは本当に紛らわしい内容であり、他の I n s t a l l プログラムに比べて不親切であった。

次に、5)に記述されている行方不明のファイルは、河原が申し上げたようにすべて削除してから、I n s t a l l したから、上のリストのように4つである。「I T 5 5 . G I D」は隠しファイルであるから、ある種の操作をしないと見えない。但し

、I n s t a l l するときの複数のファイル群の中には見えた筈です。

4)の L H A 形式の圧縮ファイルの解凍に関して、その操作を知らないと言われたときには、「何で」と奇異に感じてショックを受けた。長年、パソコンを触っておれば、D O S コマンドと同じレベルで知って当然と思っていたからだ。

最後に、若林さんへ助言ですが、Windows の操作でかなりの知識を身につけられたので、時間が許す限り、書店で雑誌の立ち読みをお勧めします。困ったときは、そこで探すのも一つの方法ですし、思わぬ拾い物をするときがあります。

初夏の合宿開催

主催 (社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会京都支部

京都マイコン研究会

日時：1997年**6月21**日午後1時～22日(日)午前11:00時

場所：(株) 関西テレビ放送... 保養施設 「**蓬莱山の家**」

滋賀県志賀郡志賀町大字八屋戸字久川原字大將軍

TEL (07759) 2-0298

集合：1. **現地... 午後1:00**

2. **京都駅前京阪ホテル** (喫茶ピエモンテ)

TEL 075-671-8907

午前10:30

申し込み方法：会長・事務局・岩井氏の各所どちらかへ電子メールで連絡下さい。**1週間前必着**のこと。

参加費用：約1万円位

開催内容

'96年度総会

インターネットホームページ開設について (若井)

MS オフィス97登場。利用の仕方

Acscce97 その他新機能について (圓口)

Windows95操作入門 (河原)

初心者対象レスキュー講座操作のコツを伝授します。

1. 各操作の小さなヒント
2. 便利な操作
3. 特殊操作
4. 誘惑に負けるな危険な操作
5. ショートカット・キーの活用
6. 各種ソフトのインストール手順の流れ
7. 圧縮ファイルの解答手順

編集部員増田より

TOMOPPYが去ってから掲載仲間がいなくさびしいですね。彼のホームページは毎月見て下さい。非常にためになる情報が掲載されています。さらに見易く改良されつつあります。月1～2回更新されています。{<http://www2.tsutaya-net.or.jp/~5227-30825/>} です。

このごろの会報は増田ばかりで申し訳ありません。皆さんは日々起こる出来事がないのでしょうか？
ないという事は日々安泰、毎日が安息日、私などは毎日が変動の波が押し寄せて来ています。その波、情報の泉はどんどん湧きでて蓄積されています。また、それがなければ寂しくて生きて行く目標がなくなります。

皆さん、人生の日々の喜びや、出来事の手稿 E-mailでもお寄せください。若林さんの顛末記連続掲載してほしいですね。貴方の顛末は.....口だけではなくデータで教えて下さい。